

令和8年度支援プログラム

案 ソラ

令和 8 年 2 月 1 日

事業所理念	ソラは様々な活動を通じて楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00~17:30 第2単位 9:00~17:00
支援方針	① 話し合い活動をすすんで取り入れ、自分の思いを伝える力、相手の話を聞く力を身に付ける。 ② 活動では「自分でする」ことを目標にスケジュールや準備、役割等、段取りする力を養う。 ③ 公共施設、交通機関でのルールやマナーを理解し、実践する。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	生活リズムの形成
	生活リズムや生活習慣の形成	健康の増進	季節や気温に応じた服装、水分補給、汗の始末身だしなみを整える
		リハビリテーションの実施	感染症予防(うがい、手洗い、マスクの着用)掃除、片付け等、身の回りの整理整頓
	基本的な生活スキルの獲得	基本的な生活スキルの獲得	傘を差して歩行の練習☆
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	構造化等により生活環境を整える	散歩、ウォーキング等、運動の習慣付け☆
		姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	ダンス、体操、エクササイズ(流行曲を用いる)
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	座ったときの姿勢の保持☆
		身体の移動能力の向上	サッカー、バドミントン、キャッチボール等球技
認知・行動	認知の発達と行動の習得	保有する感覚の活用	ウォーキング、ランニングでの持久力の向上☆
		感覚の補助および代行手段の活用	展望台散策や動植物鑑賞など、情操支援☆
	空間・時間、数等の概念形成の習得	感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	砂浜でのレクリエーション
		対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	イベント外出先の観光マップの製作☆
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	知覚から行動への認知過程の発達	調理、工作等の道具を安全に使う☆
		認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	交通ルールやマナーに対する支援☆
	言語の受容及び表出	数量、大小、色等の習得	店舗でのおやつ購入体験☆
		コミュニケーションの基礎的能力の向上	認知の偏りへの対応
人間関係・社会性	コミュニケーション手段の選択と活用	行動障害への予防及び対応	外出や読書により、興味や知識の幅を広げる
		コミュニケーション機器の活用	挨拶、職員や他利用者への質問
	他者との関わり(人間関係)の形成	言語の形成と活用	言葉でのやりとりや気持ちを伝える場の設定☆
		受容言語と表出言語の支援	店員等とのやりとりを想定した会話の練習☆
自己理解と行動の調整	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	イベントに向けた調べ学習、振り返り日記☆	
	指差し、身振り、サイン等の活用	語彙を増やすため、説明の場の設定	
	読み書き能力の向上のための支援	読書、音読の機会の充実(識字率を高める)	
仲間づくりと集団への参加	アタッチメント(愛着行動)の形成	公共交通機関を利用した外出☆	
	模倣行動の支援	カルタなどカードゲームを用いた集団競技	
	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	クリスマス会など季節の行事に因んだ活動	
一人遊びから協同遊びへの支援	図書館・展示館など公共施設の利用☆		
自己の理解とコントロールのための支援	カラオケやBBQなど集団活動を楽しむ体験☆		
集団への参加への支援	気持ちを切り替えるための環境づくり		
家族支援	ご家族のニーズを受け、家族(きょうだい)の困りごとを相談する場を設けたり、関係機関に繋いだりする等の支援を行う。		
職員の質の向上に資する取組	事業所の提供する支援の質を確保するため、年間計画に基づく事業所内研修の実施や、外部研修への派遣を行い、職員の質の向上を図る。		
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。